【当用漢字字体表】

ファイル作成者注記

- ・当用漢字字体表を、JIS X 0213の包摂規準を受け入れてコード化しました。
- ・このファイルには、JIS X 0213で定義された文字コードを使用しています。
- ・表示用フォントに、JIS X 0213に対応したものを指定していない場合、この規格で新たに定義された文字は、正しく表示されません。(「内閣訓令」の前に使われている蛇の目記号、部首の「ぼう」、「やまいだれ」など)
- ・「尸」と思われる部首に「尺」とあるところは、「尺[#ママ]」としました。
- ・「艮」と思われる部首に「良」とあるところは、「良[#ママ]」としました。
- ・末尾に【参考】として、当用漢字字体表の画像を置きました。表の各段をクリックすると、拡大した画像が開きます。
- ・校正には努めましたが、保証はできません。
- ・修正すべき点があれば、info@aozora.gr.jp宛、ご指摘をお願いいたします。

2001年2月1日 作成

2001年3月2日「ファイル作成者注記」の文言のみ修正

2001年3月19日 wakabaさんのご指摘を受けて、Shift_JIS_X_0213としていたCHARSETを、Shift_JISX0213に修正。

2001年3月26日 当用漢字字体表をスキャニングして作成した画像を差し替え。

青空文庫

●内閣訓令第一号

各 官 庁

当用漢字字体表の実施に関する件

さきに、政府は、現代国語を書きあらわすために日常使用する漢字とその音訓との範囲を定めて、当用漢字表および当用漢字音訓表を告示した。しかしながら、漢字を使用する上の複雑さは、その数の多いことや、その読み方の多様であることによるばかりでなく、字体の不統一や字画の複雑さにももとづくところが少くないから、当用漢字表制定の趣旨を徹底させるためには、さらに漢字の字体を整理して、その標準を定めることが必要である。

よって、政府は、今回国語審議会の決定した当用漢字字体表を採択して、本日内閣告示第一号をもつて、これを告示した。今後、各官庁においては、この表によつて漢字を使用するとともに、広く各方面にその使用を勧めて、当用漢字字体表制定の趣旨の徹底するように努めることを希望する。

昭和二十四年四月二十八日

内閣総理大臣 吉田 茂

●内閣告示第一号

現代国語を書きあらわすために日常使用する漢字の字体の標準を、次の表のように定める。 昭和二十四年四月二十八日

内閣総理大臣 吉田 茂

当用漢字字体表

まえがき

- 一、この表は、当用漢字表の漢字について、字体の標準を示したものである。
- 一、この表の字体は、漢字の読み書きを平易にし正確にすることをめやすとして選定したものである。
- 一、この表の字体の選定については、異体の統合、略体の採用、点画の整理などをはかるとともに、筆写の習慣、学習の難易をも考慮した。なお、印刷字体と筆写字体とをできるだけ一致させることをたてまえとした。 [備考]
- 一、この表は、当用漢字表の配列に従い、字体は、活字字体のもとになる形で示した。
- 二、この表の字体には、(一)活字に従来用いられた形をそのまま用いたもの、(二)活字として従来二種類以上の形のあった中から一を採ったもの、(三)従来活字としては普通に用いられていなかったものがある。この表では、(三)のうち著しく異なったものには、従来の普通の形を下に注した。

(二)の例

(三)の例

(1) 点画の方向の変った例

半半 兼兼 妥妥 羽羽

(2) 画の長さの変った例

告告 契契 急急

(3) 同じ系統の字で、又は類似の形で、小異の統一された例

 拝招拜招
 全今全今
 抜友拔友

 月期朝青胃月期朝青胃
 起記起記

(4) 一点一画が増減し、又は画が併合したり分離したりした例

者者 黄黄 郎郎 歩步 成成 黒黑 免免

(5) 全体として書きやすくなった例

亜亞 倹儉 児兒 昼晝

(6) 組立の変った例

黙默 動勳

(7) 部分的に省略された例

応應 芸藝 県縣 畳疊

(8) 部分的に別の形に変った例

広廣 転轉

[使用上の注意事項]

一、この表の字体は、活字字体のもとになる形であるから、これをみんちょう体、ゴシック体そ の他に適用するものとする。

二、この表の字体は、これを筆写(かい書)の標準とする際には、点画の長短・方向・曲直・つけるかはなすか・とめるかはね又ははらうか等について、必ずしも拘束しないものがある。そのおもな例は、次の通りである。

(1) 長短に関する例

雨雨 商商 戸戸 無無

(2)方向に関する例

風風 比比 仰仰 言言言 ネネ 主主 糸 年年

(3) 曲直に関する例

了了 手手 空空

(4) つけるかはなすかに関する例

又又 文文 月月 果果

(5) とめるかはらうか、とめるかはねるか、に関する例

奥奥 隊隊 公公角角 骨骨木木 来来 特 糸糸

(6) その他

北北 対 人人 入入 令令

[升]弊[弋]式[弓]弓弔引弟弦弧弱張強弾[彡]形彩彫彰影[彳]役彼往征待律後徐径徒得従御復循微 徵徳徹[心]心必忌忍志忘忙忠快念怒怖思怠急性怪恒恐恥恨恩恭息悦悔悟患悲悼情惑惜恵悪惰悩想 愁愉意愚愛感慎慈態慌慕惨慢慣慨慮慰慶憂憎憤憩憲憶憾懇応(應)懲懐懸恋[戈]成我戒戦戱[戸]戸 房所扇〔手〕手才打扱扶批承技抄抑投抗折抱抵押抽払(拂)拍拒拓抜拘拙招拝括拷拾持指振捕捨掃授 掌排掘掛採探接控推措描提揚換握掲揮援損揺捜搬携搾摘摩撤撮撲擁択撃操担拠擦挙擬拡摂(攝)〔 支〕支〔支〕収改攻放政故叙教敏救敗敢散敬敵敷数整〔文〕文〔斗〕斗料斜〔斤〕斤斥新断〔方〕方施旅旋 族旗[无]既[日]日旨早旬昇明易昔星映春昨昭是時晚昼(晝)普景晴晶暇暑暖暗暫暮暴暦曇暁曜[曰] 曲更書替最会[月]月有服朕朗望朝期[木]木未末本札朱机朽材村束杯東松板析林枚果枝枯架柄某染 柔查柱柳校株核根格栽桃案桑梅条(條)械棄棋棒森棺植業極栄構概染(樂)楼標枢模様樹橋機横検桜 (櫻)欄権[欠]次欲欺款歌欧歓[止]止正歩武歲歴帰[歹]死殉殊殖残[殳]段殺殿殴[毋]母毎毒[比]比 [毛] 毛[氏] 氏民[气] 気[水] 水冰永求汗汚江池決汽沈没沖河沸油治沼沿況泉泊泌法波泣注泰泳洋洗 津活派流浦浪浮浴海浸消渉液涼淑淚淡浄深混清浅添減渡測港渴湖湯源準温溶滅滋滑滞(滯)滴満漁 漂漆漏演漢漫漸潔潜潤潮渋澄沢激濁濃湿(濕)済濫浜滝瀬湾[火]火灰災炊炎炭烈無焦然煮煙照煩熟 熱燃燈焼営燥爆炉[爪] 争為爵[父] 父[片] 片版[牛] 牛牧物牲特犠[犬] 犬犯状狂狩狭(狹) 猛猶獄独獲 猟獣献[玄]玄率[玉]玉王珍珠班現球理琴環璽[甘]甘[生]生産[用]用[田]田由甲申男町界畑畔留畜 畝略番画異当畳[疋]疎疑[疒]疫疲疾病症痘痛痢痴療癖[癶]登発[白]白百的皆皇[皮]皮[皿]盆益盛 盗盟尽(盡)監盤[目]目盲直相盾省看真眠眼睡督瞬[矛]矛[矢]矢知短[石]石砂砲破研硝硫硬碁砕碑 確磁礁礎[示]示社祈祉秘(祕)祖祝神祥票祭禁禍福禅礼[禾]秀私秋科秒租秩移税程稚種称稲稿穀積 穗穏穫[穴]穴究空突窒窓窮窯窃[立]立並章童端競[竹]竹笑笛符第筆等筋筒答策箇算管箱節範築篤 簡簿籍[米]米粉粒粗粘粧粋精糖糧[糸]系糾紀約紅紋納純紙級紛素紡索紫累細紳紹紺終組結絶絞絡 給統糸絹経緑維綱網綿緊緒線締縁編緩緯練縛県(縣)縫縮縱総績繁織繕絵繭嬠継続繊[缶]欠[网]罪 置罰署罷[羊]羊美着群義[羽]羽翁翌習翼[老]老考者[而]耐[耒]耕耗[耳]耳聖聞声職聴[聿]粛[肉] 肉肖肝肥肩肪肯育肺胃背胎胞胴胸能脂脅脈脚脱脹腐腕脳腰腸腹膚膜膨胆臟[臣]臣臨[自]自臭[至] 至致台[臼] 与興旧[舌] 舌舎舗[舛] 舞[舟] 舟航般舶船艇艦[良[#ママ]] 良[色] 色[艸] 芋芝花芳芽苗 若苦英茂茶草荒荷荘茎菊菌菓菜華万落葉著葬蒸蓄薄薦薪薫蔵芸(藝)薬藩[虍]虐処虚虜虞号[虫]蚁 融虫蚕蛮[血]血衆[行]行術街衝衛衡[衣]衣表衰衷袋被裁裂裏裕補装裸製複襲[面]西要覆[見]見規 視親覚覧観[角]角解触[言]言訂計討訓託記訟訪設許訴診詐詔評詞詠試詩詰話該詳誇誌認誓誕誘語 誠誤説課調談請論論諮諸諾謀謁謄謙講謝謡謹証識譜警訳議護誉読変譲〔谷〕谷〔豆〕豆豊〔豕〕豚象豪 予[貝]貝貞負財貢貧貨販貫責貯弐貴買貸費貿賀賃賄資賊賓賜賞賠賢売(賣)賦質頼購贈賛[赤]赤赦 [走]走赴起超越趣[足]足距跡路跳踊踏践躍[身]身[車]車軌軍軒軟軸較載軽輝輩輪輸轄転(轉)[辛] 辛弁辞[辰] 辱農[定] 込迅迎近返迫迭述迷追退送逃逆透逐途通速造連逮週進逸遂遇遊運遍過道達違 逓遠遣適遭遅遵遷選遺避還辺[邑]邦邪邸郊郎郡部郭郵都郷[酉]配酒酢酬酪酵酷酸酔醜医醸[釆]釈 [里] 里重野量[金] 金針鈍鈴鉛銀銃銅銑銘鋭鋼録錘錠銭錯錬鍛鎖鎮鏡鐘鉄鋳(鑄)鑑鉱[長] 長[門] 門 閉開閑間閣閥閱関[阜]防阻附降限陛院陣除陪陰陳陵陶陥陸陽隆隊階隔際障隣随険隠[隶]隷[隹]隻 雄雅集雇雌双雑離難[雨]雨雪雲零雷電需震霜霧露霊[青]青静[非]非[面]面[革]革[音]音韻響[頁] 頂項順預頒領頭題額顏願類顧顕(顯)[風]風[飛]飛翻(飜)[食]食飢飲飯飼飽飾養餓余館[首]首[香] 香[馬]馬駐騎騰騒駆験驚駅[骨]骨髄体[高]高[髟]髮[鬥]闘[鬼]鬼魂魅魔[魚]魚鮮鯨[鳥]鳥鳴鶏 [鹵]塩[鹿]麗[麥]麦[麻]麻[黄]黄[黑]黒黙点党[鼓]鼓[鼻]鼻[齊]斎[齒]歯齢